

# 母の悩み 聞かせて

## 教育のプロが「ママカフェ」 不定期開催

子育て中の母親たちが横浜市内や都内のカフェなどに集まり、育児や教育について意見を交わす「Mama Cafe（ママカフェ）」が盛況だ。ネットを通じて参加した見知らぬ母親同士が「本音」で悩みを相談できる仕掛けが受けており、「ママ友に言えないことも話し合える」のが魅力なのだという。

（鬼頭朋子）

### 初対面で本音語る場に



子育て中の母親たちからの相談に応じる石田さん（中央）（5月、東京大学本郷キャンパスで）

「小学校入学前の息子を英会話教室に通わせるべきか迷っている」「マイペースな長女のやる気を引き出すにはどう声をかけてやればいいのか」

5月上旬、東京大学本郷キャンパス（東京都文京区）内のカフェには、0歳の赤ちゃんから中学生までの子供を持つ母親4人が集まった。母親たちの悩みを耳を傾けるのは、ママカフェの主催者で「子育て教育コンサルタント」として活動する石田勝紀さん（48）だ。

横浜市中区で学習塾「緑進学院」を経営する石田さんは、自身の息子2人への教育経験も踏まえながら「英語を学んだという経験が自信になれば、学力アツ

プにつながる」と話し、「複数の教室を調べてあげて、子供がやる気になれそうな教室を選んでほしい」と親身にアドバイスした。

会社の休みを利用して参加したという40歳の母親は「ママ友同士では情報が限られるが、ここでは教育に詳しい石田さんの体験も聞ける」と笑顔を見せた。

同市出身の石田さんは1989年に学習塾を設立。これまでに3500人以上の子供を指導した経験を生かし、教育問題に関する本やネット記事の執筆などを続けてきた。同市教育委員会による市立高校教育改革推進会議委員を務めたこともあり、力を入れているネット上の連載の累計閲覧数は3000万を超える。

現在は東京大学大学院で、海外大学の入学資格である「国際バカロレア」を指導する教員養成の研究を続けている。子育て中の母親の考えや意向も知りたいと考え、昨年5月にママカフェを始めたという。

ママカフェの最大の特徴は、開催場所や時期をあらかじめ固定せず、毎回異なる顔ぶれの母親たちが集まれるようにしたこと。互いに見知らぬ者同士のため、母親たちは体面を気にすることなく相談できるのだという。「中学受験」「幼児期の家庭教育」などのテーマを設定するが、飛び出す話題は多種多様だ。

石田さんは「子育てに不安や疑問はつきもの。語り合う場を求めている母親はたくさんいると感じる」と話す。その上で、「考えすぎずに親自身が子育てや生活を楽しむことが重要」とエールを送っている。

自治体も居場所作り  
母親同士が集まれる居場所作りは、自治体も積極的に取り組んでいる。横浜市子育て支援課によると、市内の各区役所では就学前児童を持つ母親の集まりを企画するなどしており、定員を上回る参加者が集まる事例もあるという。担当者は「少子化や近所づきあいが少なくなっている影響で、育児中の母親は互いの話を聞く機会を求めているのではないか」としている。



泉署などは13日、横浜市泉区の神奈川中央交通戸塚営業所で、バスジャックなどを想定した合同訓練を行った。2020年東京五輪・パラリンピックなどの国際的なイベントを見据え、公共交通機関を狙ったバスジャックやテロへの初動対応を確認するのが狙い。同署員や消防隊員ら約70人が参加した。

訓練は、包丁を持った男にバスが乗っ取られ、同営業所から110番があったとの想定。パトカーから呼びかけてバスを停止させ、防刃ベストを身につけた同署員が男を説得するとともに、機動隊員が車内に突入して男を確保した。その後、爆発物が見つかったとの想定で爆発物処理班が処理する訓練に臨んだ＝写真＝

同署の則次誠二郎署長は「関係機関と一体と

「バスジャック許さない」 営業 合同

家族葬 一般葬 ほうさい	天気		きょう	横浜	海老名	小田原	三浦
	西部	東部	午前 午後 夜	降水確率 最高 最低	20	24 17	24 16
	北の風の (あす)	北の風の (あす)					